研 究 終 了 報 告 書

下記の研究について、研究計画書に基づく研究を終了しましたので、研究結果の概要を報告いたします。

研究課題：急性心疾患患者に対する下肢筋肉量の変化と予後の関係
倫理審査承認番号：237
実施医療機関：神奈川県厚生農業組合連合会 相模原協同病院
研究責任者：松尾 興志

倫理審査承認日	2022 年 10 月 22 日
研究実施期間	2021 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究終了日	2026 年 3 月 31 日
終了区分	☑ 予定どおり終了　☐ 中止　☐ 中断
登録症例数	353 例
解析対象症例数	284 例
研究計画書からの重大な逸脱	☑ なし　☐ あり（　）
重篤な有害事象や倫理上の問題	☑ なし　☐ あり（　）
研究結果の概要	本研究は、急性心不全患者 353 例を対象とした単施設後ろ向き観察研究であり、284 例を解析対象とした。超音波により入院時および 2 週後の大腿直筋横断面積（RFCSA）を測定し、入院中の変化率を算出した。入院中の RFCSA の減少が大きい群では全死亡や心不全再入院のイベント発生率が高く、急性心不全患者における入院中の RFCSA 変化は、予後リスク評価に有用であることが示された。

研究課題：重症例を含む非外傷性くも膜下出血患者の早期離床が術後合併症に与える影響
倫理審査承認番号：253
実施医療機関：神奈川県厚生農業組合連合会 相模原協同病院
研究責任者：小野田 大基

倫理審査承認日	2023 年 4 月 18 日
研究実施期間	2021 年 1 月 1 日 ～ 2023 年 1 月 31 日
研究終了日	2023 年 1 月 31 日
終了区分	☑ 予定どおり終了　☐ 中止　☐ 中断
登録症例数	80 例
解析対象症例数	46 例
研究計画書からの重大な逸脱	☑ なし　☐ あり（　）
重篤な有害事象や倫理上の問題	☑ なし　☐ あり（　）
研究結果の概要	本研究は、非外傷性くも膜下出血患者 80 例を対象とした単施設後ろ向き観察研究であり、46 例を解析対象とした。術後の離床開始日によって群分けを行い、術後合併症の発生割合を比較したところ、早期に離床した群でも発生率は低く、非外傷性くも膜下出血患者における早期離床は術後合併症を増加させない可能性が示唆された。

研究課題：低栄養リスクを有した心不全患者への経口栄養補助食品の摂取が短期的並びに長期的アトカリウムに与える影響

倫理審査承認番号：310

実施医療機関：神奈川県厚生農業組合連合会 相模原協同病院

研究責任者：小野田 大基

倫理審査承認日	2025 年 4 月 30 日
研究実施期間	2025 年 4 月 1 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究終了日	2026 年 9 月 31 日
終了区分	☑ 予定どおり終了　　☐ 中止　　☐ 中断
登録症例数	296 例
解析対象症例数	194 例
研究計画書からの重大な逸脱	☑ なし　☐ あり（　　）
重篤な有害事象や倫理上の問題	☑ なし　☐ あり（　　）
研究結果の概要	本研究は、低栄養を合併し心臓リハビリテーションを実施した心不全患者 296 例を対象にした研究であり、最終的な解析対象は 149 例であった。2025 年の経口栄養補助食品(ONS)の提供の取り組み開始を基準に、ONS 提供群と未提供群に分割した。入院中の 2 週間で、ONS 提供群は下肢筋肉量が 3.3%増加したが、未提供群は 18.9%低下しており、ONS 提供による下肢筋肉量減少の抑制効果が示された。

以上